

# かわじ市議の奮戦記

林文子市長は1月25日、2019年度横浜市予算案を発表しました

## 横浜市が 2019年度 予算案発表

### 市民要望が一步前進

た。一般会計1兆7315億円で前年度比2%増のプラス予算です。

日本共産党横浜市議員団は、横浜市の予算編成に反映することを願って、昨秋の9月11日、市長に対し594項目の予算要望書を提出。そこで強調したことは市民のくらし応援、防災重視を優先することだった。

示された予算案で市民要望の実現、前進として評価できる主なものを挙げます。

#### 中小企業支援市内経済活性化

小規模事業者の支援策が強化。市制度融資として小規模事業者向け融資枠230億円など。

#### 平和事業関連

全会一致で成立した国際平和推進条例をうけて、関連予算が1.5倍化。

#### 再生可能エネルギーの促進

共産党が条例提案をして推進を促す再生可能 エネルギー活用について計画を策定。

#### 介護、高齢者分野

介護人材の確保予算を2.4倍化し、研修の拡大 と住居家賃補助を行います。特別養護老人ホーム着工数は前年280床か

ら449人と増やします。

敬老バスはバス等事業者への市負担金を5.4億円増やし、現行どおり継続。

#### 地域交通の充実

地域住民主体でミニバス等を行行する地域交通サポート事業では、車両代への直接補助を新設。

#### 子育て支援

保育所待機児童解消策として受け入れ定員を2199人拡大、うち認可園は1463人分です。2019年度中に学童クラブの設置基準・耐震基準を全クラブで達成するために分割・移転支援を拡充します。小児医療費助成(通院)の対象は中3へと拡

大。高校奨学金の成績要件を5段階評価で平均4から3.7へと引き下げ。

#### 防災・減災対策の強化

ブロック塀の撤去・新設は、857件を見込み、4.1億円を計上。防災時に避難所ともなる地域 防災拠点での備蓄を充実。更新する予算を1.4億円から3.4億円に増額し、前年0.8億円を1.9億円にして防災スपीカー42基を増設します。

これらの前進の背景には、市民の声と運動のひろがり結びついた日本共産党の議会内外の取組みがあったと云えます。

#### 大型開発、一部大企業優遇は変わらず

大型開発事業には、新市庁舎整備420億円、横浜環状道路北西線・南線など高速道路に332億円、新たなふ頭国際コンテナ戦略港湾関係に135億円、自民党市議がカジノ誘致先として名指しする山下ふ頭再開発には82億円、民間マンション建設に補助金など都心部再開発に97



市長に予算要望書を手渡す党市議団＝昨年9/11

策に貢献

## 「数は力」 共産党議員団の真髓を発揮！③

冊子「9人の市会議員団になって横浜市政がこんなにも変わりました」

**子どもを守る いじめ、虐待防止 対策の強化を！**  
学校現場でのいじめでは教員の多忙さもあり、発覚しにくい点と学校側の対処として、無理して来なくても良い傾向があるようです。そのため、不登校の子どもたちが急増しており、NPO学習支援の「無料学習塾」では、高校へは行かせたい」と定員の枠を増やして対応している状況です。  
さらに深刻なのは、親から育児放棄されている子どもたちが家事全般を押し付けられ、学校へも行かせてもらえず、家庭内いじめを受けている状況です。  
千葉県の10歳の女児が親の虐待・暴力で亡くなった事件では、親の残虐さと児童相談所の対応のひどさが問題視されていますが、横浜市でも、東電福島第一原発事故での避難してきた男子児童への金銭を含めたいじめに対して、教育長の無責任な対応で被害生徒をさらに苦しめる事態がありました。  
日本共産党は、「いじめ防止対策法」に基づく調査委員会の設置を市長に求め、きちんと対応するよう申し入れし、やっと市長と教育長が被害者に謝罪をしました。  
子どもの側に立つべき学校、教育委員会、児童相談所の姿勢が問われています。

## 2.3演説会 アベはそと！共産党はうち！



左から、あさか・山添・かわじ・椎葉の各氏



訴えるかわじ議員

候補からは、8時間働けばふつうに暮らせる社会」はどうしたらつくれるのかと切り出し、ニューヨークでは時給1600円が実現したことを紹介して、大企業の内部留保を活用すれば時給1500円以上は実現できることを強調しました。

また、かわじ市議について 大企業に勤めている時代にたった一人で会社門前でピラマキをやった。一人でも働く人を守るために立ち上がる人だ」と紹介。かわじ議員と共にブラック企業のない社会をつくりたいと決意を表明しました。

2月3日に山添拓 参議院議員を招き演説会を行い350人が参加しました。あさか由香選挙区

は「そうだ」の声と拍手で応えました。かわじ民夫市会議員からは、安倍政権を退陣させるためには、参議院選挙での躍進が必要であるためには地方選挙で私を再び議会に送ってほしいと切り出しました。  
林市長の政治姿勢について触れ、市長は自民党の言いなりで 国の政策を実行するのが自治体だ」と述べ、下請け宣言をしました。具体的な例を示すと共に中学校給食よりカジノ誘致の姿勢を告発しました。韓国カジノの視察についてや、日本一おいしいと言われる中学校給食を実施している宝塚市の視察を報告しました。

#### 初めて参加しての感想

とても素晴らしかった。私は立憲民主党の支持でしたが今日参加して、我々の子供の世代が戦争などに巻き込まれるようなことのないように共産党に頑張ってもらいたい。来ちゃったよ、かわじさんのカジノより給食の話よくわかった。共産党の議員はすごいな、山添さんの話はよくわかった」

「時間くらいしかいられないよと参加したが、とちゅうで帰れるような話ではなかった」とカンパも寄せてくれました。

かわじさんの話で市政のことが良く分かった、応援していると伝えてください」  
用事で公会堂に来た人が、時間がなく演説会に参加できないかとカンパを寄せてくれました。